人間関係講座（コミュニケーション））第91回［秋］

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	楠本和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授） 伊東　留美（南山大学短期大学部英語科講師）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、楽しく参加しながら人間関係の主要領域についての理論と実際を同時に学びます。更に人間関係に関して自分自身の在り方に気づき、成長の手がかりをつかみ実践していくことを目指しています。ここでは、特に”自己理解と対人コミュニケーション”に焦点を当てて進めていきます。 この講座は、以下の3つの分野について学びます。 ①自分自身の価値観・性格・興味など、自己理解を深めること ②話したり聴いたりする時の自分の特徴に気づき、話す・聴くというコミュニケーション能力を高めること ③対人関係における感情の重要性に気づき、感情表現の多様性と幅を広げる ご自分についてより深く知りたいという方、日常や仕事上でのコミュニケーションで相手の話をよりよく聴けるようになりたいという方など、さまざまな方にお勧めです。なお、今年度の本講座は、遠隔地からもご参加いただけるように、土日の２日間で実施されます。
日程	2013年11月 9日（土） 10：00～18：00 11月10日（日）　9：00～17：00　土日集中
定員	各30名
会場	南山大学　D棟　D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ 講座報告	担当講師　伊東　留美　記 大学祭も終わり、紅葉と落ち葉が目立ち始めた南山大学のキャンパスで、11月9・10日（土・日）の2日間、『第91回人間関係講座（コミュニケーション）秋』がD棟51教室にて開催されました。35名の受講者が無事に本講座を修了することができました。 今年度より週末の集中講義となったことで受講生も東海地域以外の遠方（関東、関西地方はもちろん、福岡や新潟からも！）からホテルに宿泊されて（しかも嵐のコンサートが名古屋ドームで、「B-1グランプリin豊川」が開催され、宿泊予約が大変困難！）の受講生も多数お見えでした。職種ももちろん、地域、そして年齢層も多彩な受講メンバーに恵まれ、講座は大変豊かなコミュニケーションが生まれる素地をもつことができました。これは意図的にできるものではないので、受講してくださったみなさまに本当に感謝を申し上げます。 2日間の講座は、「コミュニケーション」というテーマで、多くの受講生にとっては非日常的な「教室」という場所で、5つの実習を通して自分や他者のコミュニケーションのあり方を考える時間となりました。日頃会話をする時には立ち止まって振り返るということが少ないですが、本講座では「体験学習」という枠組みの中で、実習での体験をふりかえり、コンテンツレベルだけでなく、プロセスレベルで起きていたことを丁寧に取り上げながら、それを相手に伝えたり（フィードバックしたり）、新たな自分や他者について気づいたりしていきました。 講座終了後アンケートを読ませていただき、本講座が受講生の皆さんにとって（そして私にとっても）、コミュニケーションが「今、ここにいる」自分と他者という存在が関わることであるという体験であったのだろうと思いました。 ありのままの自分を言葉や体で表現し、それを相手が理解し受け入れてもらえたと感じる体験は、受容と自己理解につながったと感じられたことでしょう。 講座開催中、暖房がきかない教室で寒さに耐えながらも、集中力を切らさずマラソン走者のように講座に取り組んでおられた受講生のみなさま、お風邪などひいておられませんか。非日常的週末を送られた後の日常生活は如何ですか。 講座開催中に、少しだけでしたが受講生の方とやり取りをさせていただき、職場やお住まいの地域などの話を伺うことができ、私がいる世界もまだまだ小さいなあと思いました。また、こうした新しい出会いがみなさんとできたらよいなと思います。